



学校だより6月

HP : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yamashitamidoridai/>

メールアドレス : ky-e-yamashitamidori@city.yokohama.lg.jp

学びは連続していく

副校長 小島 多加江

先日、地域の保育園に勤務する友人と話をする機会がありました。「園では、毎日のように『今日の遊び』を話し合っていて決めていたのよ。1年生になっても、子どもたち同士で話し合うことができたらうれしいな。」

彼女の言葉に、現在の幼稚園や保育園でも、小学校と同様に主体的な活動が行われていることに、改めて気付かされました。

早速、1年生の教室の様子を見に行きました。

教室では生活科の授業が行われていました。学校探検で見つけたことを全員でまとめる学習です。どの子も自信をもって発表する姿に、わずか一か月でここまで成長するのかと感心しました。1時間の授業で、学校の2階の地図が子どもたちの力だけで完成していききました。

後で担任に話を聞くと、子どもたちがそのように育つよう意図して授業を進めているとこのことです。「めあてをもって学校探検に臨ませること」「任せることは子どもたちに任せること」など、計画的に指導・支援しているからこそ、子どもたちの力だけで地図を完成させることができたのだと分かりました。

授業が終わると、ある男の子が「副校長先生はいつもどの教室にいるの？」と尋ねてきました。場所を教えることは簡単でしたが、あえて答えないことにしました。

「どこだったかな。」ととぼけてみると、隣の児童が「職員室だよ。1階だよ。」と教えていました。男の子が嬉しそうにうなずく姿を見て、私も大きくなすきました。

翌日はあいにくの雨でした。外では遊べません。

中休みに、その男の子が職員室にやってきました。けがでもしたのかと思い入口まで行くと、「学校探検で来ました。」とにこにこしながら言うのです。前日から訪ねてこうと考えていたのだと思うと、大変うれしく感じました。

雨の日の中休み、彼だけでなく多くの1年生が校内を探検していました。中には、先生の名前や仕事内容を尋ねる児童もいました。自分たちで考えて行動する姿に、幼稚園や保育園で育まれてきた力が、小学校でも確かにつながっていることを感じました。

子どもたちは、これまでの遊びや話し合いの経験を土台にしながら、小学校での学びを広げています。1年生の担任も、その育ちを大切に受け止め、子どもたちが自分で考え、動き出せるような授業を工夫していました。

これからも、一人一人の「やってみたい」「知りたい」という気持ちを大切にしながら、主体的に学ぶ力を伸ばしていきます。

子どもたちの学びが6年間途切れることなく続いていくよう、学校全体で丁寧に支えてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。